



ごあいさつ

実行委員長 渡辺 武

コンサートにご来場の皆様、本日はほんとうにありがとうございます。男声合唱団「昴」と、関西紫金草合唱団がそろって今年結成10周年を迎えられ、合同で10周年コンサートを開催されることになりました。二つの合唱団は創立メンバーに重複者も多く、仲の良い双子の兄弟のように支え合いつつこの日を迎えられたということで、それぞれの旺盛な活動を身近に見聞しつづけてきた者の一人としても、まことに喜ばしい限りです。

二つの合唱団はともに、平和と希望に満ちた世の中をつくり上げるために、歌声をとおして連帯の輪をひろげようという共通の情熱にあふれた、何よりも歌好きな人々の集まりです。この情熱と行動力は、指揮者、伴奏のピアニストと一体のもので、まことに目を見張らせるものがあります。

日本のうたごえ祭典コンクールで度々一位二位をかちとった「昴」の実力は、大阪での四度にわたる大規模コンサートでも遺憾なく発揮され、男声合唱独特の腹にしみわたる力強い歌声と人生の喜怒哀楽の表現が聴衆の心をしっかりとらえました。

関西紫金草合唱団の活動は、国内はもとより、来年七回目を迎える南京・北京・上海などへの精力的な訪中公演により、民衆レベルの日中友好と平和の促進に大きな貢献をされています。「紫金草物語」上演などを重ねることで、日本軍による大虐殺で反日感情の格別強かった南京市民の心をしだいに変化させたとお聞きするにつけ、「うたごえは平和の力」ということを実感します。10周年を励みに、それぞれの合唱団がさらに前進を続けていかれませうよう念願してやみません。

(元大阪城天守閣館長)

<メッセージ>

紫金草合唱団の皆様、「昴」男声合唱団の皆様

南京市人民対外友好協会 副会長 孫 文学 2010年3月

新緑の美しい季節に、この度は皆様が大阪NHKホールでコンサートを開催することで、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

光陰は矢の如し、紫金草合唱団がはじめて南京に公演に来られて以来、あっという間に10年が過ぎてしまいました。この10年間に日中関係もいろいろあって、あまり平穏ではなかったようですが、でも「紫金草」があるから大丈夫でしょうと、いつも皆様に勇気付けられた感じがします。

南京では「紫金草」の組曲を聴いたり、あるいはこの話を知っている市民が多くいるからです。この取組みを通じ南京の市民は、「日本にも歴史を正視し、平和を愛して日中友好を大事に思っている国民が多くいる」事実を知ったのでしょうか。これは日中関係にとっては、大変有意義なことです。

また、過去5年間に、「将来を担う南京の大学生に歌を歌って聞かせよう」という皆様の熱意で、南京の諸大学でも公演を行ってきました。この行動はまさに友好の種を蒔くことです。平和と友好の実を収穫する時期が必ず来ると信じております。春になると、南京では色んなところで紫金草の花が満開しています。美しい花を見ながら、皆様の大阪公演の大成功を心から祈念しております。